

令和5年11月6日～7日 岡山県美咲町・津山市・西栗倉村 視察研修レポート

今回の視察研修は全議員が事前研修をし、事前に内容のある事前質問書を提出出来た事は大きな前進であった。

11月6日、友好関係を3年前から保っている岡山県美咲町では、子ども達に議会を知ってもらい、理解してもらえる様に「議会体験学習」や「子ども議会」を実施している。又、自治会や各種団体など少人数の町民との交流を目的とした「出前議会」等を取り組んでいる。その中味は平日・休日・昼間・夜間を問わず、出前を実施し、「まちづくり」について、住民と共に考えていて、住民の反応も好評であることである。私が一番関心を持ったのは、多世代交流拠点施設の整備や義務教育学校の設置について積極的に取り組み、結果としてすばらしい学校が約40億円の費用をかけて建設中であることであった。広大な敷地にすばらしい校舎や付属施設が8割方出来上がっていた。我が岬町も一日も早く、小・中学校の校区や教育内容の再構築をおこなっていかなければならないと痛感した。美作高校とSDGsパートナーシップ包括協定も先をみこしたすばらしい活動であった。

11月7日の研修は津山市の「移住・定住の取り組みについて」産業経済部移住支援室長 平 恭子さん、主幹 小椋 浩一さんからの研修を受けた。事前に16項目もの質問事項を提出していてその回答をいただいた。津山市は人口9万人都市として生活基盤と歴史文化や自然環境がバランスよく調和された「ちょうどいい暮らしやすさ」を売りにしている。特に子育て教育環境が充実されており、安心して生活出来る町づくりであった。IJUコンシエルジュを2名配置し、移住支援をおこなっている。地域企業と学生等の接点創出・相互理解が重要であり、特に「18歳の壁」を克服するための取り組みをしっかりと実施されている。

11月7日の午後から「生きるを楽しむ」西栗倉村を訪問し「環境モデル都市」としての取り組みを研修した。低炭素社会を目指す社会の姿を具体的にわかりやすく示すものであった。特に林業を中心に「百年森林構想」は森林づくり、村づくりの根幹となるビジョンであり「地域資源に付加価値をつけて経済を循環させる」という

考えから間伐材を加工し製品化出来る環境を整え、6次産業化している。生産から加工販売まで林業の出来るサプライチェーンを構築されていた。特に気になったのは「小水力発電」であった。我が町でも活用できないものだろうか。今回の研修をしっかりと受けとめ、町発展、住民の幸せ度アップの為に議会をあげて取り組んでいかなければならない。

道工 晴久